

ナイトスクール（夜間特別研修）を開催しました！

11月28日に毎年開催しています『ナイトスクール（夜間特別研修）』を開催しました。県内企業団体より46名の方が参加していただきました。

警察本部交通企画課交通安全対策室長から県内の事故の状況などの講話を受講したあと、屋外自転車コースに移動して夕暮れ時と夜間の検証をしました。

内容は、

- 夕暮れ時の視認性
- 夜間の駐停車
- 発煙筒の使い方
- ライトの照射範囲
- 反射材の効果
- 蒸発現象
- 幻惑現象
- 夜間の視認性

夕暮れ時は、見えていると思っていても見えにくい色があります。

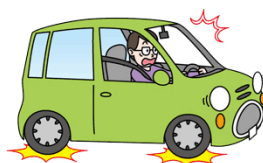


高速道路などで車が故障した場合など駐停車する時は、停車した車・走行する車どちらにも安全でなければ事故を誘発してしまうかもしれません。三角停止表示板・発煙筒は、車に入っていますか？



蒸発現象は、対向する車のライトで歩行者などが見えなくなってしまうことです。歩行者は、これだけライトに照らされているのだから当然見えていると思ってしまいますが、不思議なことにまったく見えなくなってしまうのです。写真は、歩行者がわかるように撮影していますが、運転席から見ると消えてしまいます。

ドライバーにとっては見えた時には、もう目の前に…ということになります。



『見える・見せる』ことが事故防止策の一つです。ドライバーは暗ければライトをつけ、こまめに上向き下向きを切り替え、歩行者は反射材などを着用し早く発見されることで、事故を起こさない、事故に遭わないように夕暮れ時から早めの準備をしましょう。